

京都大学農学部にて畜産研究の概要を講義

京都大学附属牧場では、毎年、農学部資源生物科学科4回生のうち、家畜生産に関連の深い研究分野の専攻生を対象として、『応用動物科学技術論と牧場実習』を開講しており、本年度は、9月5日(月)から9月9日(金)までの5日間開催されました。

当センターは、畜産課と協働で9月9日(金)に京都大学吉田キャンパスにて京都府の畜産と試験研究の概要について講演を行いました。学生からは、「畜産担い手研修制度は、生産者側と受講者のどちらのニーズが強いのか」との質問があり、「京都府酪農の持続的発展のため、酪農家の第三者継承のニーズを掘り起こすとともに、京都府で酪農を志す研修生を募集している」と回答しました。

当センターでは、京都府畜産のPRを進めるとともに、今後も研究成果を積極的に発表し、広く情報発信してまいります。



当センター職員による研究概要の講義

畜産センター